

“WASABI”ライブ 新しい純邦楽の音色に酔う

3月4日、「新・純邦楽ユニット“WASABI”LIVE 2018」が市文化センターで開かれ、約450人が来場しました。

津軽三味線奏者である吉田兄弟の吉田良一郎さんが奏でる三味線に、尺八・箏・太鼓の音色が重なり合い、迫力のあるリズムが会場に響き渡りました。

来場者は和楽器の音色が創り出す空間に酔いしれていました。



自衛隊入校・入隊予定者激励会 自衛官への思い胸に



3月12日、田村市自衛隊家族会主催で「田村市自衛隊入校・入隊予定者激励会」が市役所で開かれました。

入校・入隊予定者を代表して、三輪拓美さんが「激励いただいた言葉を胸に刻み、使命を自覚する立派な自衛官となるよう日々切磋琢磨したい」と決意を述べました。

●入校・入隊予定者（敬称略、カッコ内は出身地区）…三輪拓美（大越町）、小関健太（船引町）、横田幸太郎（船引町）

都路スイーツゆい ふくしま産業賞特別賞を受賞

2月16日、都路町の「みやこじスイーツゆい」が、「第3回ふくしま産業賞」（主催：福島民報社）で特別賞を受賞しました。この賞は、福島県の経済・産業・ものづくりに優れた取り組みをした団体に贈られるものです。

みやこじスイーツゆいは、原発事故で避難地区に指定された都路町に賑わいを取り戻そうと、都路産の卵を使った6次産業化に取り組みながら、子育て中の女性を雇用するなどしています。



4月から「うつし交流館」に！



「移住センター」は、改修工事の終了に伴い、4月1日から「うつし交流館」として生まれ変わりました。この工事は福島特定原子力施設地域振興交付金の補助を受けたもので、段差の解消や多機能トイレの新設だけでなく、元の移出張所の跡地を活用して駐車場を拡張するなど、地域交流拠点機能として使い勝手が向上しました。

なお、出張所は交流館へ引っ越し、すでに業務を始めています。



平成30年度のスタートにあたり



田村市消防団 団長 飛田 充

市民の皆様には、日頃より私も消防団に對しまして、特段のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。平成30年度がスタートしましたが、今年度も安全安心の田村づくりのため、各種行事・訓練などを展開し、消防団としての防災力の強化を図ってまいります。

さらに、9月には福島県総合防災訓練が田村市を会場に開催されます。本部長である県知事のほか、県内消防関係者を多数お迎えし、大規模な訓練を行う予定ですので、ぜひ参観していただきしたいと思います。

震災と原発事故から7年が経過しましたが、その教訓から、消防団を含めた地域の防災体制の強化が叫ばれております。火災はもとより、地震、噴火、豪雨などによる災害が各地で頻発し、地域

防災力の重要性が増大している一方、社会情勢の変化により、地域防災の担い手である団員を十分に確保することが困難となっているのも事実です。消防団は愛好会とは違い、災害出動や各種訓練など厳しい面もあります。しかし、活動の中で、故郷を想う気持ちを育み、一生つきあえる仲間ができるだけでなく、人間形成を図り、やがては地域のリーダーとして成長することができ、かけがいのない団体であると思っています。

消防団は将来にわたり、地域防災力の中核として欠くことのできない存在です。引き続き地域の身近な団体として、人と人とのつながりを大事に、安心して暮らせるまちづくりのために精進してまいりたいと思っておりますので、今後ともご理解のうえ、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



▶昨年度春季検閲



◀第6回消防協会田村支部消防操法大会

30年度 主要行事

- 4月 8日 (日) 部長・新入団員訓練
- 4月 29日 (日) 春季検閲
- 6月 2日 (土) 第71回福島県消防大会 (会津若松市)
- 6月 17日 (日) 第14回消防協会田村支部幹部大会
- 6月 24日 (日) 第7回田村市消防操法大会
- 7月 2日 (日) 第7回消防協会田村支部消防操法大会
- 8月 26日 (日) 第41回福島県消防操法大会
- 9月 2日 (日) 福島県総合防災訓練
- 1月 6日 (日) 出初式

火災ゼロ対策の具体的な取り組み

- ① 「火災ゼロ」一声運動
- ： 広報警戒、防火パレード、火防督励等
- ② 市政だより、防災行政無線等を活用した広報
- ③ 住宅用火災警報器100パーセント設置運動
- ④ 幼少年期からの火災予防の意識づけ
- ⑤ 火災予防運動・防災訓練・各種イベントでの火災予防対策
- ⑥ 各事業所等への防火指導
- ⑦ その他、年間を通じて季節に応じた火災予防対策 など